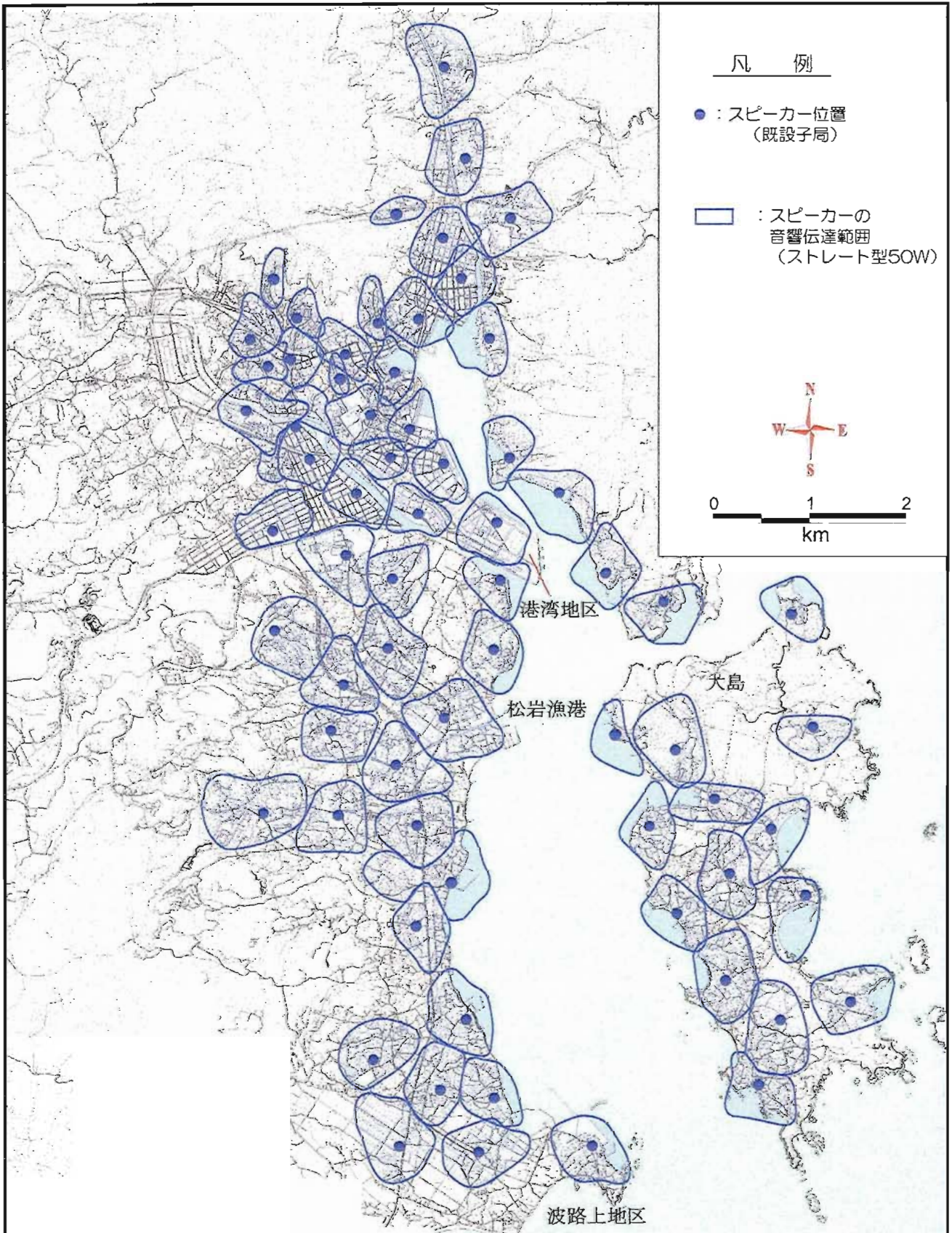


防災行政無線配置図

宮城県気仙沼市




# ○ホームページ

## 『気仙沼市危機管理課 Twitter(ツイッター)』による情報発信について

### 【要旨】

Web(ウェブ)を活用した災害情報をはじめとする本市の防災情報を発信するため、平成22年7月2日から危機管理課が、新たに Twitter(ツイッター)を開設しました。



### 1. 事業の内容

Web を活用した気仙沼市の防災情報発信及び効果的な情報提供の手法として、「Twitter (ツイッター)」を用いて、災害情報やイベントなどの情報を危機管理課が提供するものです。

Twitter (ツイッター) は、利用者が 140 字以内の単文を投稿しあう簡易投稿サイトで、人気上昇中のツールであり、市内外を問わずパソコンやモバイル機器、携帯電話などで Web を活用する方々に向けて、情報提供を行います。

### 2. 具体的な活用方法

- (1) 大規模災害時における災害情報のなどの発信
- (2) 防災訓練や防災関連イベントなど、防災に関する行政情報の発信
- (3) その他、災害に関して必要と思われる情報の発信

※ 原則として、利用者(フォロワー)からのツイート(つぶやき)に対して個々の対応はしない。

### 3. 『気仙沼市危機管理課 Twitter (ツイッター)』について

- (1) 開設日 平成22年7月2日(金)

- (2) アクセス方法

- ① URL <http://twitter.com/bosai kesennuma> (bosai と kesennuma の間は、アンダーバー)

- ② 気仙沼市ホームページから

トップページ → 防災情報 → 危機管理課 Twitter(ツイッター)による情報発信について

③ 携帯電話から



(3) 名 前 気仙沼市総務部危機管理課

(4) 自己紹介 気仙沼市の危機管理課の公式アカウントです。災害に強い安全・安心なまちづくりを目指し、「気仙沼の防災情報なう」をツイートしますので、よろしくお願ひします。返信はしていませんのでご了承ください。

## 5. 導入事例

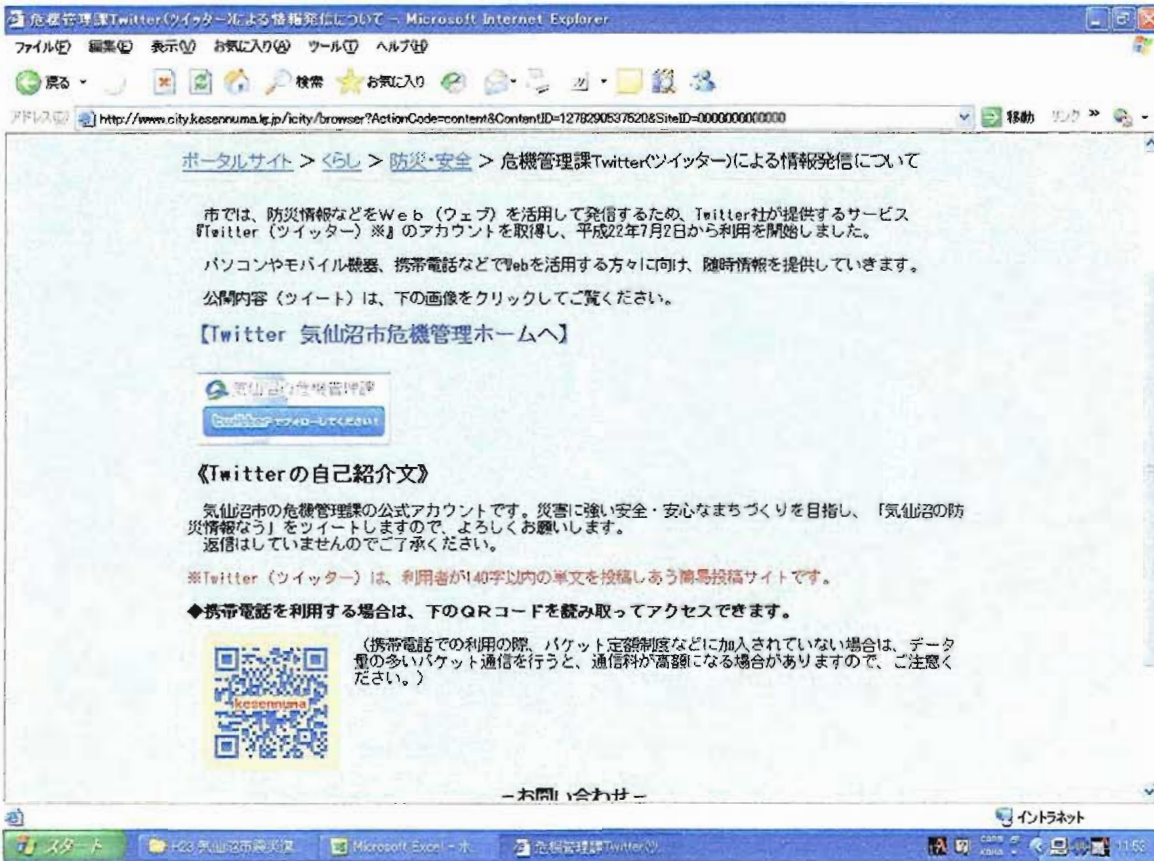
(行政情報全般) 青森県庁, 岩手県庁, 秋田県横手市, 北海道陸別町, 神奈川県厚木市, 埼玉県北本市, 兵庫県淡路市, 沖縄県西原町ほか

(観光情報) 北海道網走市ほか

地方自治体としては、上記のとおり、導入事例があるが、自治体の防災部門が独立してツイッターを開始したのは、本市が初めてと思われます。\*

※ Twitter 公式ナビゲーター(ついなび)地方自治体アカウント検索結果

# ○ツイッター（Twitter）ホームページ画面

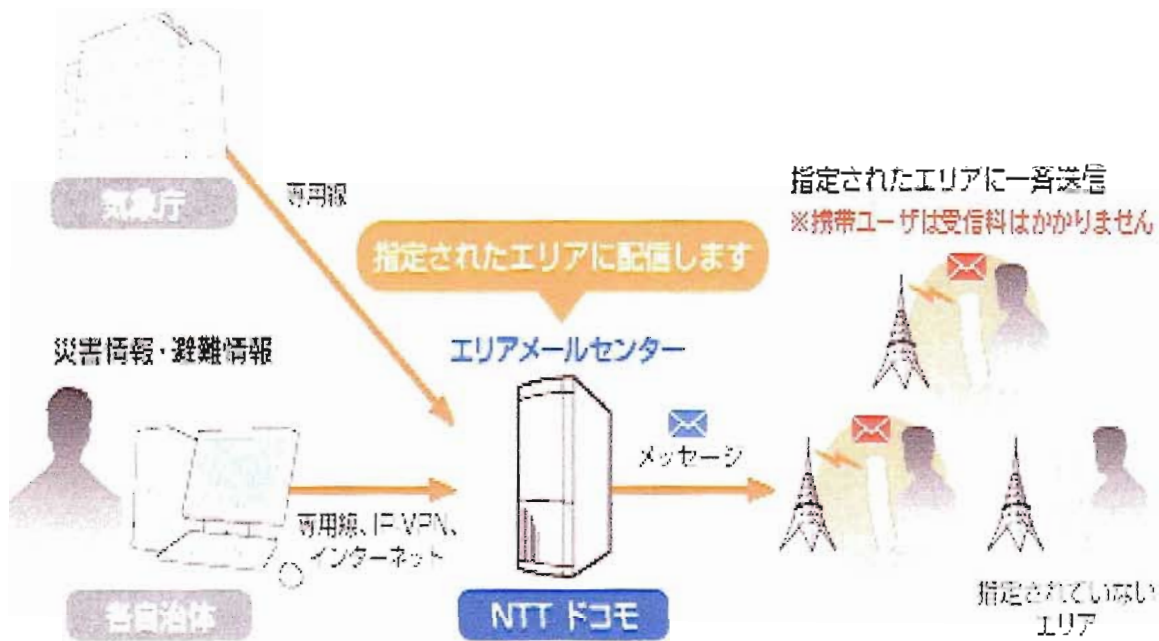


# ○ツイッター（Twitter）

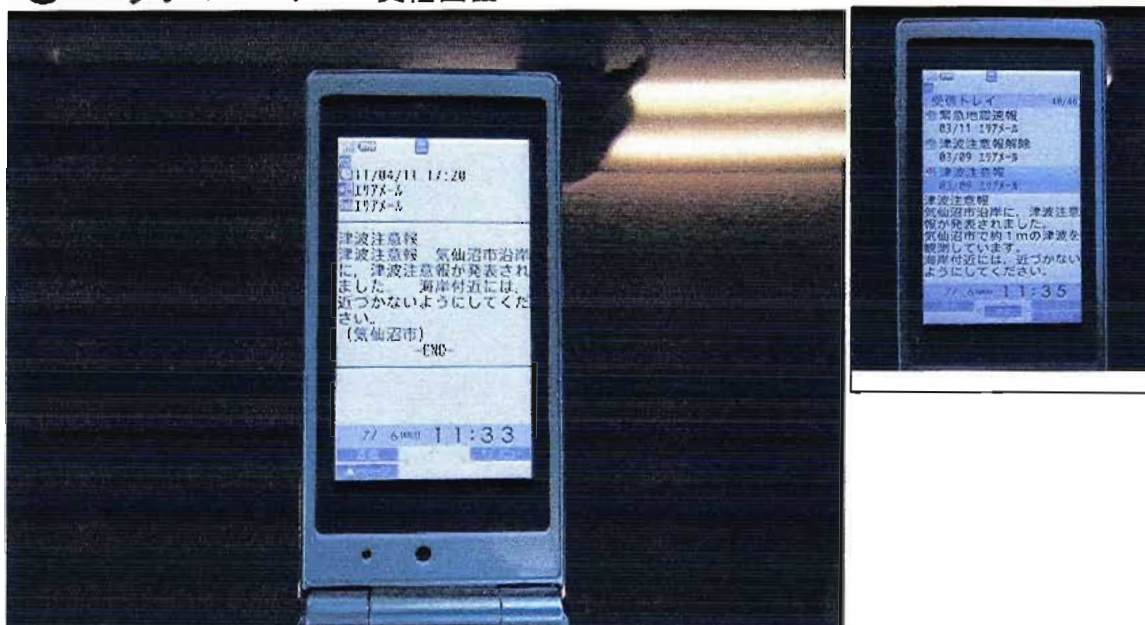


# ○エリアメール

緊急地震速報



# ○エリアメール 受信画面



# 「気仙沼市被災者支援メール」をはじめます。

気仙沼市では本日（4月29日）朝8時30分から「気仙沼市被災者支援メール」の配信をはじめます。

このたびの大震災で被災された皆様への支援のための情報をスピーディーに広くかつ正確に伝達するものです。

配信をご希望の皆様はご登録をお願いします。

## 【配信内容】



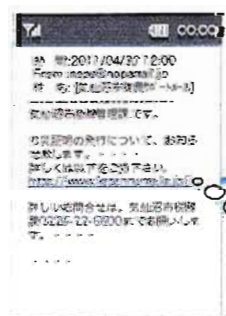
○月○日に  
XXXを行います。



被災者に対する  
生活関連情報等

### 【配信予定の内容】

- ① 各種被災者支援制度のお知らせ
- ② 被災者支援に係る各種証明書発行や説明会などのお知らせ
- ③ ライフライン復旧に関するお知らせ
- ④ ボランティア支援に関するお知らせ
- ⑤ 地震・津波等の防災情報 など



市HPへも  
ジャンプ



## 【登録方法】

ご自身の携帯電話から登録を行います。

- 1 お持ちの携帯電話より、以下のアドレスに空メールを送信。  
[05999@nopamail.jp](mailto:05999@nopamail.jp)



バーコードリーダー機能付きの携帯電話をお持ちの方は、こちらをご利用ください。



- 2 返信メールからアクセスし利用規約を確認してください。  
利用規約に同意いただける方は登録手続きをしてください。
- 3 パソコンからでも登録できます。

### ご注意 ・ 通信に係る費用について

メール送受信のほか、ホームページ等との接続にかかるパケット通信費用は利用者の負担となります。

### ・ ドメイン指定受信設定変更のお願い

メール配信サービスへの登録は、携帯電話のメール機能を利用して行います。事前に「nopamail.jp」からのメールを受信できるように設定してください。

【問い合わせ先】 総務部 危機管理課 防災情報係 22-3402

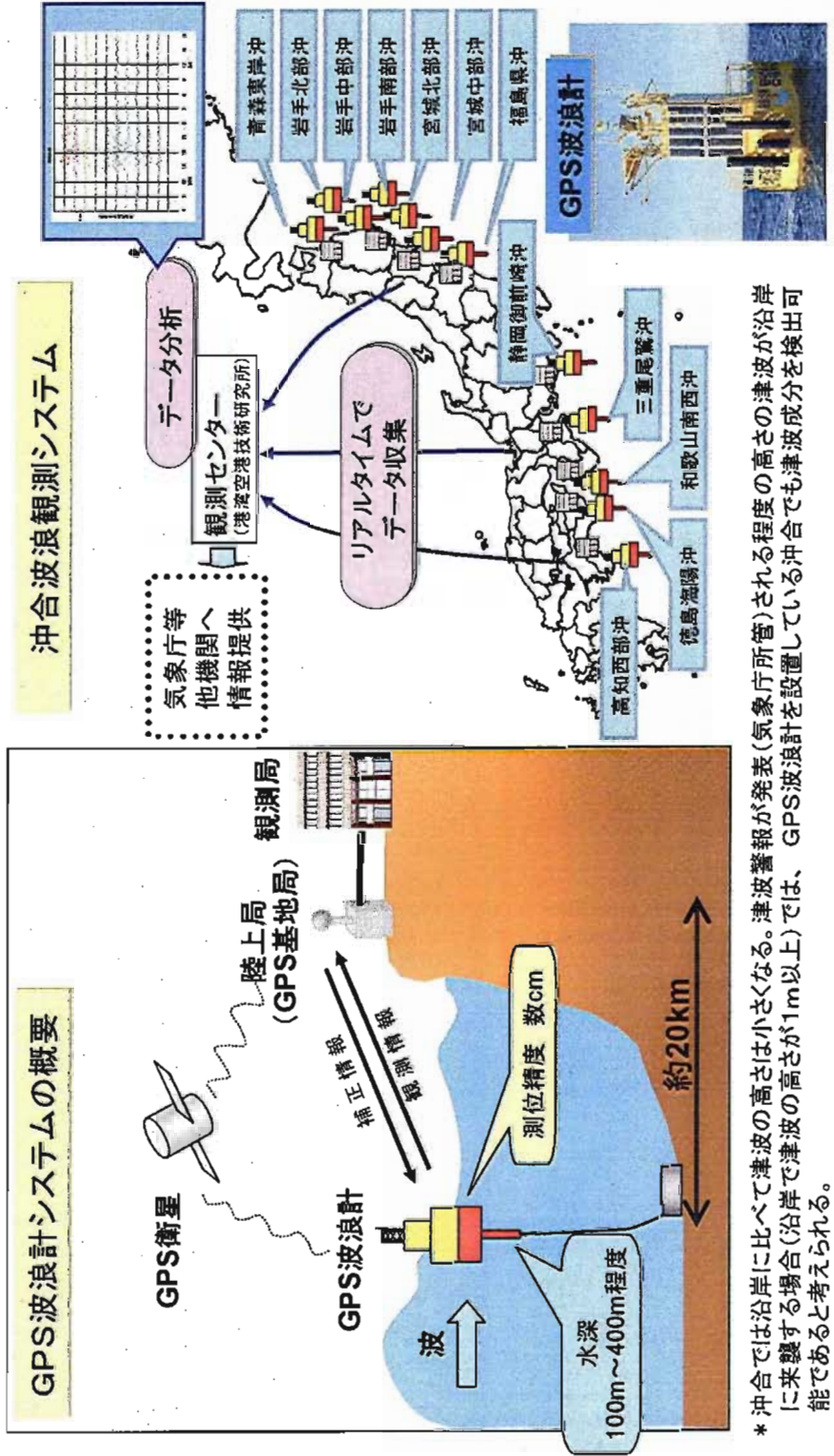
# 気仙沼市 潮位・津波観測システム 配置図





## GPS波浪計を活用した沖合波浪観測について

港湾整備に必要な沖合の波浪を精度良く観測するGPS波浪計を整備し、沖合波浪観測を実施しています。地震発生時には津波の観測も可能\*であることから、気象庁等関係機関と連携することにより、港湾を含む沿岸域での津波への迅速な対応にも活用できます。



\* 沖合では沿岸に比べて津波の高さは小さくなる。津波警報が発表(気象庁所管)される程度の高さの津波が沿岸に襲う場合(沿岸で津波の高さが1m以上)では、GPS波浪計を設置している沖合でも津波成分を検出可能であると考えられる。

## 津波避難ビル

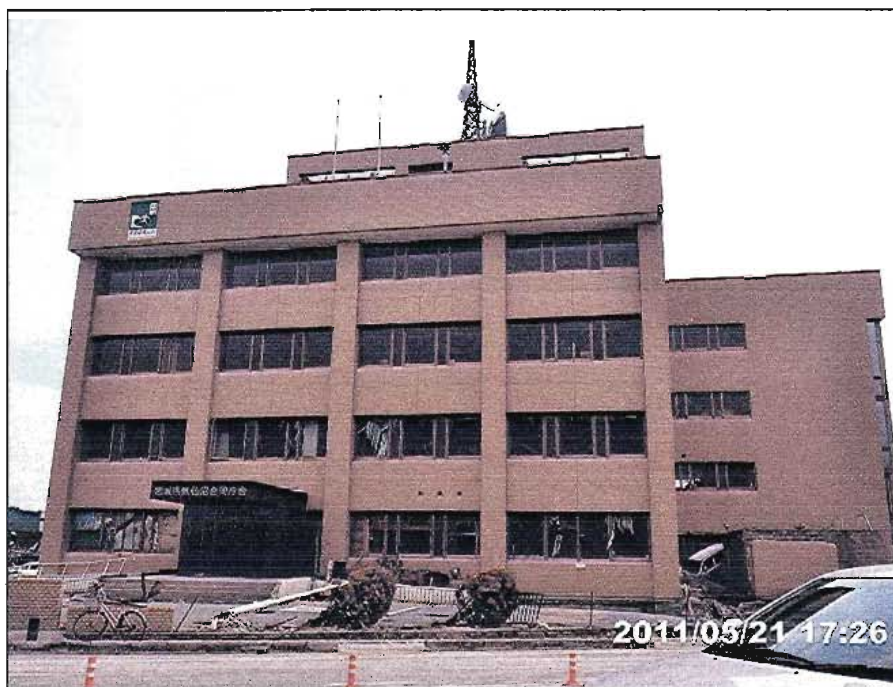
昭和57年9月 「津波一時避難場所」として12箇所指定

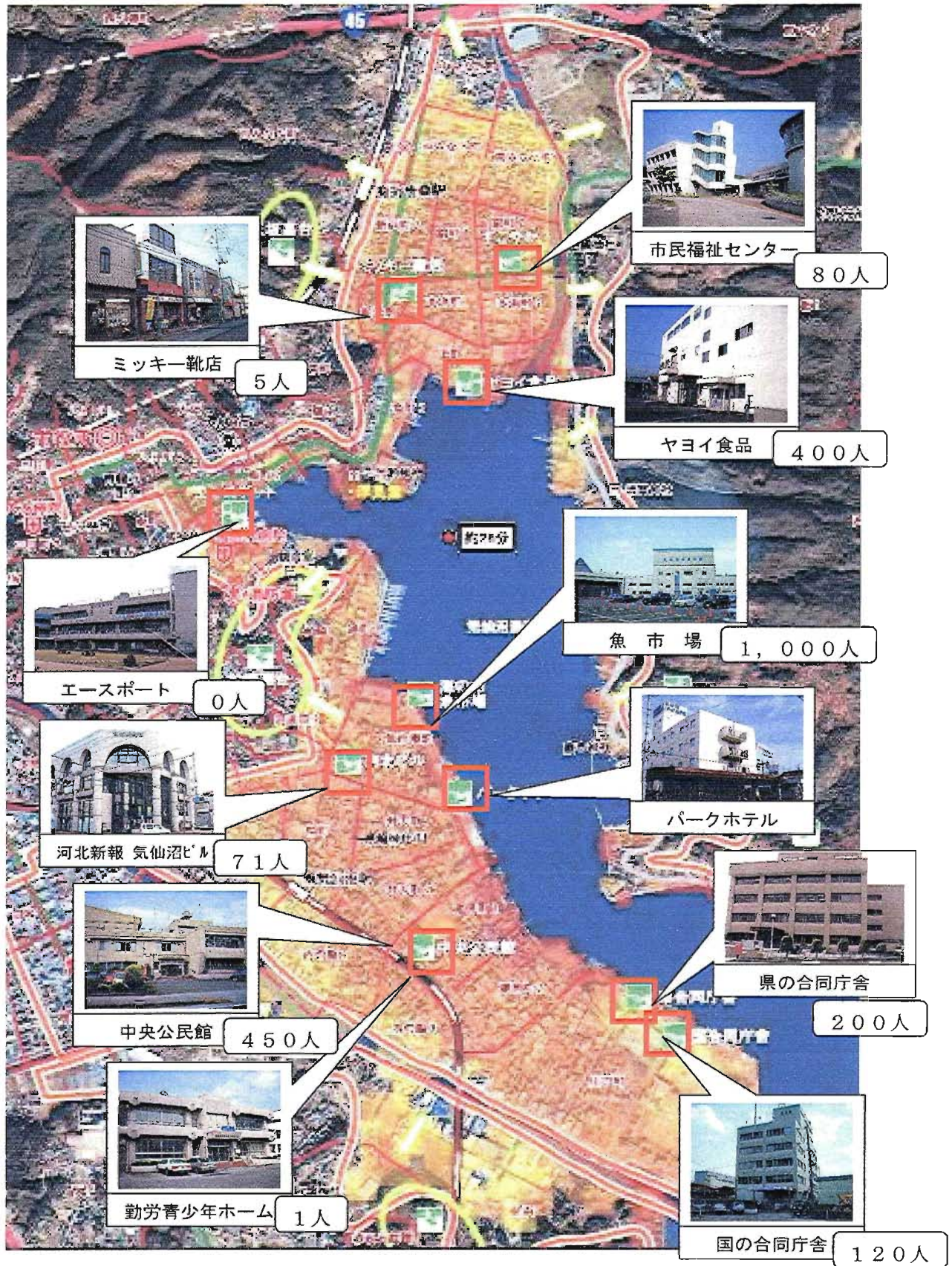
高台まで距離のある場所における人工高台の意味合い。

高さ、構造、外階段などの状況を考慮の上選定し依頼。

震災時 15箇所

国気仙沼合同庁舎、宮城県気仙沼合同庁舎、気仙沼中央公民館、気仙沼市勤労青少年ホーム、気仙沼市魚市場、気仙沼パークホテル、河北新報社気仙沼ビル、南気仙沼小学校、条南中学校、エースポート、総合市民福祉センター、ミッキー靴店、ヤヨイ食品、気仙沼向洋高等学校、岩井崎プロムナードセンター





〔その他〕

気仙沼向洋高等学校：49人 岩井崎プロムナードセンター：0人 一景閣：50人  
 そのほか、猪苗代病院など数施設が避難ビルとして機能した模様。

## 「防災に向けた市民の取り組みについて」

### □ 防災講座

市民の方々への防災啓発の一環として、出前型式での防災講座を実施してきた。

地域、年齢、災害種類などに応じて内容を調整し、正しい災害の知識とイメージを持って頂くことを目的として行ってきた。

実施件数：平成20年度：18回 平成21年度：32回 平成22年度：27回

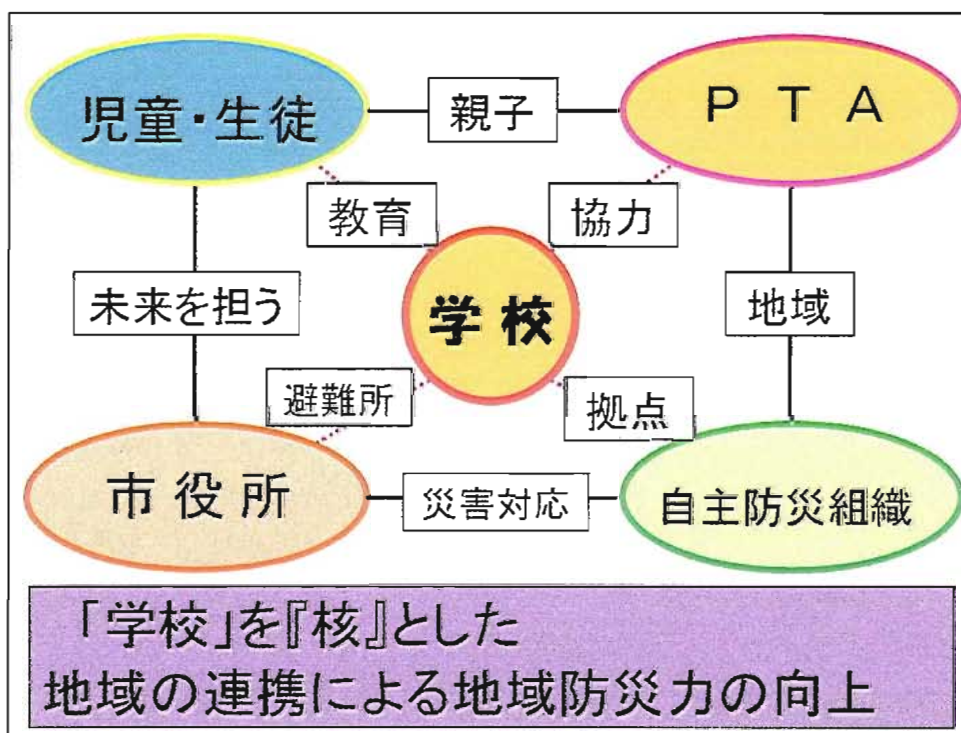


### □ 防災教育

児童生徒への防災意識啓発の一環として、出前型式での防災講座のほか、年間を通じた指導や協力を実施している。

学齢、学校の地域的な防災課題などのほか、実験や防災マップの作成など、適宜内容に応じて学校への協力を行っている。

実施件数：平成20年度：22回 平成21年度：11回 平成22年度：22回



## □ 唐桑半島ビジターセンター・津波体験館

津波体験館は、三陸海岸に特に関係の深い「津波」をテーマに、実際に即してストーリー化し、映像・音響・振動送風等を組合わせた、全国初の津波の疑似体験館である。

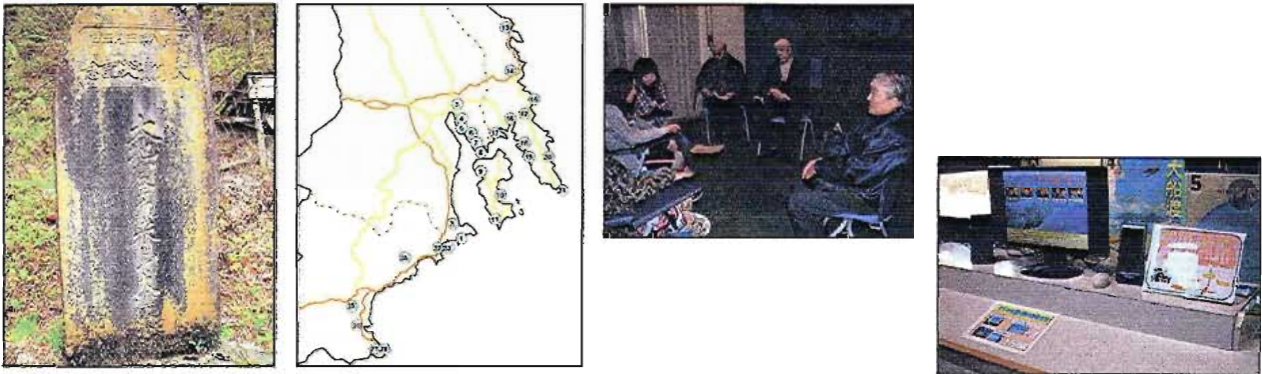
ビジターセンター内にも実験機材や標本などが展示されており、防災講座（大人向け、子ども向け）を受けることもできる。



## □ 石碑、語り部

過去の津波を後世に伝え、被害を防ぐことを目的として市内各地に石碑が建てられている。

また、過去の災害を人から人へと伝える「語り部」としての活動も行われている。



## □ 気仙沼311まるごとアーカイブ

独立行政法人防災科学技術研究所と連携し、被災前の過去の街並みや行事の映像、津波の被害、復興まちづくりや産業復興の映像を収集・記録し、津波の教訓を後世に伝承するとともに、被災地内外の津波防災対策の検討や研究、教育、復興支援のために、それらの映像を人類の共有財産として一般に無償で提供することを目的として取り組んでいます。

気仙沼 311  
まるごとアーカイブ

<http://311archives.jp/index.php?gid=10041>

